

令和5年度 第2回「SAGA コラボレーション・スクール」
学校運営協議会（学校魅力強化委員会） 議事録

- 1 日 時 令和5年7月11日（火）15:00 ～ 17:00
- 2 場 所 本校 進路教室
- 3 出席者 <学校運営協議会（学校魅力強化委員会）・地域協働部会>
徳川委員、原委員、前田真委員、松田委員、山下委員
<校内委員>
山口教頭、池田、田島、松尾、山口

4 会順

- (1) 学校長挨拶 ※委任状の配布
- (2) 本時の「総合的な探究の時間」について
- (3) 1年生「総合的な探究の時間」に参加
- (4) 1年生「総合的な探究の時間」のフィードバック
- (4) その他 今後の予定

◇第3回 令和5年10月～11月の総合的な探究の時間

【企画運営部会委員】学校評価中間報告 【地域協働部会委員】総探時の支援

◇第4回 令和6年2月中旬の総合的な探究の時間

【企画運営部会委員】学校評価最終報告 【地域協働部会委員】総探時の支援

議事録

(1) 学校長挨拶（教頭）

昨日は大雨で臨時休校となりました。本日は校長が不在ですがよろしくお願いします。
前回 13 名の委員のみなさまが参加されました。今回は総合的な探究の時間の授業でフィールドワークのまとめをしますのでサポートをお願いします。
もう一方のグループは学校運営のサポートをしていただくこととなっています。
今日はよろしくお願いします。

(2) 本時の「総合的な探究の時間」について（山口）

先日、生徒が決めた行先においてグループでフィールドワークを行いました。
定期考査等があって事前指導が不十分ではありましたが、それぞれのテーマ別にグループで 2 か所ずつ訪問しました。
事前のワークシートでは、どこにどのような目的で行くのかワークシートに記入させながら確認させています。ワークシートについても自分の探究したいテーマと関連するような内容を意識させながら書けるようにしています。
今日の授業の目的はフィールドワークで得た情報の整理をすることです。
ワークシートを使いながら進めますが、生徒からなかなか質問が出ないこともあるので、積極的に声掛けをお願いします。
資料の通りの割り振りで各教室に入ってください。よろしくお願いします。

【A 委員】行先は生徒の希望で選んでいますか？

【B 教諭】生徒へのアンケートでできるだけ希望に合わせた行先となっている。行先やバスのキャパで希望通りにいかなかったところもあります。

【C 委員】地域ってどこまでが地域ですか？

【B 教諭】唐津市という行政枠にとらわれず、唐津市周辺ということで、玄海や鷹島など佐賀県北部周辺という生徒の生活空間というとらえ方でよいと思います。生徒への説明もそのようにしています。

(3) 議題

① 1 年生「総合的な探究の時間」のフィードバック

【A 委員】全体的にゴールを意識できていない様子が見られた。例えば魅力を誰に持たせるのか考えたり、高校生に魅力を持たせたりするにはどうしたらよいかなど、仮説検証を自由にやらせてもよい。

- 【C 委員】唐津くんちについて調べることも、見る側、引く側、守る側、食べ物も作り方、育て方、売り方などもう一步踏み込んで考える必要がある。
グループで活動しているので、グループ内にアドバイスする人がいれば良いのではないか。発表がゴールなのでもう一步深められたら良い。
- 【D 委員】せっかく生徒がいろいろ考えているので、それをみんなで共有する時間があるとよい。周りの意見を基にそこから更に色々と深まることもある。発表ではテーマを広げるのか深めるのかを道筋を与えたほうがわかりやすい
- 【E 委員】魅力を見つけて発表するのか、課題を見つけて発表するのか、まだポイントがわかってない。子供たちは何を調べていくのか絞り込めていない。マッピングをしている生徒がいたが、とても良かったので、そこから広げていく、絞っていくとよい。何を発表するのか絞り込みをしたほうが良い。しかし、高校1年生でここまで絞り込めているところは素晴らしい。
- 【B 教諭】探究は課題を見つけて解決するのがスタンダードであるが、課題というとマイナスイメージが強い。いいところを見つけてからということの魅力から入ったところである。
- 【E 委員】良いところを見つけることは良い。課題の反対側には必ず良いこともあるはず。
- 【F 委員】魅力を先生が言うと子供たちに答えを言うことになる。子供たちに調べさせることに意義がある。
- 【C 委員】このような活動を通して、自分がしたい事がすこしずつ見えてきたかもしれない。
- 【A 委員】魅力と課題のギャップでつなげて考えさせることもできる。魅力をだれに伝えるのかがわからないので、絞るのか、観光を増やすのかなど考えながら考えさせることも必要。
- 【C 委員】グループ同士の魅力をどう感じるのかも大事。周りの意見を基にそこから更に色々と深まることもある。
- 【A 委員】虹の松原に興味ある子が多いが、体験活動がない。体験からの気づきがあるのでは。
- 【B 教諭】ボランティアで松葉かきに行っている。案内がきてから行っているという状態である。総合的な探究の時間で興味のある子たちが体験できるとよい。
- 【E 委員】他校は虹の松原班を作っている。課題研究で行っている。
- 【D 委員】この後の活動はどうなっているのか。

【B 教諭】テーマを絞っていった魅力について発表、その後課題を考えることとなる。

【D 委員】生徒のいろいろな思いを持っているので、生かせるような活動となればよい。

【G 教頭】このような活動が得意な生徒がリーダーシップをとっていけば、手本になって周りがついていくようになる。

【A 委員】インセンティブが必要ではないか。発表の舞台や賞金のでる大会などもある。

【B 教諭】3年間活動してそれが進路や将来につながれたらよい。

【E 委員】来年度のコース分けに関係あるのか。

【B 教諭】総合的な探究の時間の授業時だけは分ける予定である。

【E 委員】探究活動が好きな生徒が引っ張って進路につながられれば良い。そのようなモデルケースが出てくれば周りも引っ張られる。最近では総合型選抜や学校推薦が増えていく状況なので、そこにつながられればとても良い魅力となる。

【A 委員】生徒に先駆的な発表を見せることなどはするのでしょうか。

【B 教諭】あまりにも完成度が高いものを見せるのはモチベーションが下がる可能性もあるため、検討していきたい。

【C 委員】発表の機会はぜひ作ってほしいのでお願いします。

大学入試では学力で行くのは少なくなっている。学び方も含めて課題を見つけて自分が何ができるのか考えることで将来の進路につながればよい。

【E 委員】他校では高校生で NPO 作りたいなどの生徒も出てきている。

先生方の負担が増えないように、減らすためにできることがあれば、委員でも協力したい。

(4) その他 今後の予定

今のところは、資料の日程の通りで計画しています。